

小規模多機能サービス/デイサービス/ホームヘルプ/移動サービス/介護支援センター

# 第2こだま通信

115号

2024年  
5月



小規模多機能サービス やまびこ  
小平市津田町3-27-7  
TEL 042-349-3655  
FAX 042-349-3656

第2こだまデイサービス  
小平市津田町1-12-8  
TEL 042-343-0456  
FAX 042-313-6605

《発行》特定非営利活動法人地域福祉ネットワーク 第2こだま  
ホームページ <http://kodama2.org>



## 満開の桜の下で和やかに

みなさん、いかがお過ごしでしょうか？コロナ禍もようやく一段落、この春は心から満開の桜を楽しむことができました。第2こだまのデイサービスと小規模多機能やまびこの利用者みなさんが中央公園の桜の花見で一緒になり和やかに写真に納まりました。さて、季節は早くも5月に入りました。もうすぐ暑い暑い夏の到来です。暑い夏を気をつけて一緒に乗り切りましょう。

**急募!!金・土に働ける調理スタッフ!連絡請う!**

# 第2こだま利用者・家族・スタッフの一言

## 幸せの、黄色い大きな傘をひろげたい

田辺 崇博 (第2こだまデイ利用者家族)

第2こだまの「利用者」の家族としてお世話になり、8年目。美味しい食事、楽しい歌声、スタッフのみなさんの気遣いと一言で、家族も元気づけられてきた。感謝、感謝。

しかし、先日開かれた学習会で、利用者・介護で働くスタッフ・事業所——この3者の利害を対立させる仕組みがよくわかった。全産業平均より7万円も低い賃金（実際はもっと低いとのこと）、相次ぐ事業所の倒産・廃業。物価高で利用者もスタッフも事業所も大変なのに介護「基本報酬」は削減。「こんな非情なしくみを作ったのは、誰だ」（声を大きく）「誰だ〜！」。

「感謝、感謝」ではすまされない。数え年で笠寿になり、私の傘は破れているが、まだもちそう。介護の幸せの黄色い傘、しかも大きな傘をみんなで広げたい。

（3月中旬、「介護労」が主催した「春闘学習会」で田辺さんから「春闘の歴史」について話していただきました。その時の感想を田辺さんに寄せていただきました。）

## こだま川柳をつくりました

加藤 美和子 (スタッフ)

- ・にぎやかに みんなで散歩 風邪しらず
- ・北風で 顔のお肌も 強くする
- ・危ないと おもわぬ床で すべってる
- ・昼ごはん 記憶・免疫 アップする

## 落とし文

川根 進 (利用者)

行きはよいよい 帰りは怖い  
やっどひろうや 落としふみ

※落としふみ——若枝を鳥などがつついて落とす芽

## 週2回のデイの日の解放感

川口 雅子 (やまびこ利用者家族)

「デイケアに <sup>つま</sup>夫送る門 <sup>かど</sup>桜花」 週2回のデイの日は私自身も元気を頂く日でもあります。夫もきっと開放感を感じているのではないのでしょうか。お散歩、昼食、おやつ用の用意、お風呂、ゲーム、お昼寝、送り迎えなどなど職員の方々はさぞかし大変なのではないのでしょうか。お習字なども楽しんでおられるようで丁寧な介護に感謝です。これからもお身体に気を付けてよろしく願います。

## 「ありがとう」の言葉を忘れないで使ってほしい

藤本洋子 (やまびこ利用者家族)

桜の花が咲く季節、認知症の人との毎日は先の見えない時間の連続。自分が健康体だったらがんばれるのに。心臓、腎臓の悪い私、無理はできない。やさしい言葉をかける、相手の立場になって言葉を言う。しかし、とても認知症の人とは思えない相手の言葉に「カチンと来て」飛び出してくる言葉はすべて反対。自分の心も痛む。頭のこわれている人でも体は健康なんだからできることはしてほしい。「ありがとう」の言葉を忘れないで使ってほしい。それが二人の幸せにつながっていくはず。

(利用者・家族のみなさんから原稿を寄せていただきました。感謝！！次回もよろしく！)

短歌2首

赤きバラの 花の次第に 石原 笹子  
重大なことひとつ ほどけゆく  
陽をすくい 咲き極まれる 終へし夜を  
ふはり傾く 明日の方へ 牡丹花は

# 100歳を迎え、元気にデイに通っています



石原さんの100歳のお祝い会を開催しました。一緒にお祝いしたみなさん。

## 石原さんへのインタビュー

### 100歳を迎えた心境はいかがですか？

長生きしすぎました。みんなに迷惑をかけてばかりと

思っています。

デイサービスでも古いほうになり、みんながよくしてくるので気持ちよく通っています。まだピアノも弾けるし、あたらしくデイに来る人に声掛けしたりして坦々と過ごしています。

で、お茶会をしたり、学校で芝居をして子どもたちに見せたりしました。それが校長先生の目に留まり、PTAの会長をさせられたりもしました。その時は、NHKの話し方教室で勉強したりして、それを生かして務めました。当時、話し方教室のことは評判になつていたものです。

### 子どもの頃のことを教えてください

私は次女で母が早くなくなり、4人の子育てが大変だったので小学校2年生の時、一度、そのまます実家で暮らすことができた。養女にいかされま

### 戦争中、戦後はどうでしたか？

主人と結婚したのは戦争の最中でした。主人が戦場から一度戻ってきたとき、また行つたらもう戻ってこない、というこ

### 子育て中はPTAの会長もしました

子どもたちのお母さんたちと親しくつきあう中

主として、女学校の先

輩の手引きで急いで見合い結婚しました。そのご主人は塹壕堀などに従事していましたが、まもなく敗戦。戦後、女性が選挙権を持ってとてもうれしかったのを覚えています。ただ、主人が結構、遊び歩いたため、そのための苦労はしました。

（インタビューにに応じていただきありがとうございます。これからも元気に過ごしてください。第2こだまデイサービスでは続いて99歳の方、98歳の方もおられます。『なぜヒトだけが老いるのか』という本には85歳を超える方々は超高齢者で、感謝の念、他者を大切にする姿勢、ポジティブな感情の持ち主が多い、と書いてありました。ヒトは共感の生物だからできるだけ「幸せ」を共感しあいましょうと。さらに長寿を実現していくために必要な介護は遠慮なく受けて、みなさんで交流しながら明るく過ごしていきたいでしょう。）

# NPO第2こだまは26期総会を開催します

## 保険あって介護なし！の状態にはなりません

理事長 木村 重成

今年度（24年）は介護保険に大きな改定がありました。マスコミでも報道されましたが、ホームヘルプの報酬が削減されたことが一番の問題点です。物価高が続いています。ホームヘルプはこれまでも利用制限が続き、事業運営が厳しくなって撤退する事業者が相次いでいましたが、さらに追い打ちをかける改定です。在宅介護はデイサービスとホームヘルプの組み合わせが主ですが、このバランスを壊す改定と言わざるを得ません。もう一つの主な改定はわずかばかりの介護スタッフの処遇改善です。とても物価高に追いつかないものです。これでは若い人たちがますます介護の仕事につきたがらなくなってしまいます。何年も介護保険料を払い続けても介護が受けられない状態にしないために一緒に考えて行きましょう。

**日時：2024年6月23日（日）、10時～13時（懇談会時間含む）**

**場所：やまびこ**

### 〈総会プログラム〉

1. 開会のあいさつ
2. 議長・書記の選出
3. 理事長あいさつ・議案提案
  - ①第一号議案：2023年度活動・事業報告
  - ②第二号議案：第25期（2023年度）決算報告
  - ③第三号議案：2024年度事業計画
  - ④第四号議案：2024年度活動・事業方針
  - ⑤第五号議案：役員改選提案
4. 監査報告
5. 質疑応答の後、採決
6. 議長・書記の解任
7. 閉会のあいさつ
- 8.

記念講演：24年度介護保険改定と今後の動向

講師：介護をよくする東京の会に依頼中

\*遠慮なく必要な介護を受けて心豊かな老後を過ごしましょう。

\*明るい展望を持てる話し合いをしましょう。

\*総会終了後、1時間ほど軽食で懇親会を予定しています。

\*どなたでもご自由に参加できます（参加される方はご連絡ください。）。

\*ご意見・ご要望がありましたらFAX（042-313-6605）も含め連絡ください。